

第4回 岐南町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時 : 令和7年2月14日(金) 9:25~10:30

場 所 : 岐南町役場4階 会議室4-1

出席委員: 益川浩一、黒田隆、丹羽貴彦、子安宗俊、樋口史子、櫻井明、岩砂典子、
松原恵美、傍島敬隆

事務局 : 安田悟(総合政策部長)、摂田真広(総合政策課長)、総合政策課員 2名
アドバイザー(株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 WEB参加) 1名

1 会長あいさつ

- ・今回が審議会の4回目。パブリックコメントの結果を受け、必要な修正を行い、最終案を作成する。

2 議題

① パブリックコメントの結果について

② 岐南町地方創生総合戦略(第3期)(案)の修正について

(事務局)

- ・パブリックコメントの結果と総合政略案の修正について説明した。

(委員意見)

- ・4Rの説明が分かりにくい。

→ (事務局)

- ・ごみ減量への取組のことと分かるよう改める。

(会長)

- ・説明文の修正は事務局に一任する。

(委員意見)

- ・パブコメの実施をもっと広く知らせ、住民の意見を多く聴取してほしい。

→ (事務局)

- ・今回は今までのパブコメと比べ住民の関心が高かった。広報紙で半ページを使ったお知らせがよかったと考えている。

(委員意見)

- ・LINEを使ったのはよかった。

(会長)

- ・パブコメは住民参画の1つ。寄せられた意見は今後の事業に生かしてほしい。

(委員意見)

- ・機構改革による修正について、新しい体制で、目標に向かって実施してもらいたい。

- ・子どもの居場所が4か所となっている。その場所は。

→ (事務局)

- ・ほほえみ会館のほかは未定である。

(委員意見)

- ・こうした会議には幅広い世代の参加が必要。

(会長)

- ・大学生が参加するワークショップもある。

→ (事務局)

- ・まちの課題解決にワークショップは有効。また、デジタル技術も活用していく。

(委員意見)

- ・今回のパブコメで、まちづくりに熱心な住民がいることをあらためて知った。
- ・こどもまんなかは将来に向けて大事なこと。子どもからお年寄りまで、さらにグローバル化する人材にも取組が必要。また、計画を実現するには財源が必要。

(会長)

- ・多様なかたちの財源確保にも取り組んでほしい。

(委員意見)

- ・子どもの居場所づくりはさらに進める必要がある。ごみの有料化は住民に対して十分な説明を。パブコメの広報の仕方や期間を見直す必要がある。

(会長)

- ・評価の際には、数字から読み取れない質的な評価も大切。

(会長)

- ・総合戦略(第3期)(案)について、次の2点の修正をもって承認してよいか。よければ挙手をいただきたい。

1点目：4Rの説明文をごみに関することであると分かるよう修正を行う。

2点目：令和7年4月以降の新しい課名に修正を行う。

(委員一同)

- ・全員挙手。

(会長)

- ・総合戦略(第3期)は、一部修正を反映することとし、承認する。

3 その他

(事務局)

- ・総合戦略(案)については、審議会での協議内容を修正し、3月中に公表予定。
- ・来年度以降、審議会において効果検証を行っていく。

以上